

"あなた" から "アナタ" へ ボランティアメッセージ

Tsu-city
Volunteer-center
Magazine

Volun TSU

ぼらん津 ほろい津

Vol. **34**

2014.
MARCH

津市ボランティアセンター情報誌

ピックアップ記事／平成25年度 地域を基盤とした福祉教育に関する事業の取組みについて

[More topics]

- 地域福祉教育基礎研修会の開催をふりかえって
- ぼらん津(支部版)情報
- ボランティアセンター登録及びボランティア活動保険の更新について

ふれあいと癒しの空間 地域とつながる子育て支援



25年度 三重県社会福祉協議会(地域を基盤とした福祉教育に関する事業)を活用し、 地域福祉教育に取り組みました！



(上) オリエンテーションの様子
(下) 焼きそば作りの様子

平成二十六年八月五日(月)、八日(木)、十日(土)に津市河芸ほほえみセンター、千里ヶ丘地域において「福祉デイキャンプ in かわげ」を開催しました。津市内の小学校六年生、中学生を中心のべ三十六名が参加し、NPO法人夢のやかた職員の協力のもと、焼きそば作り、パンジーの種まき、障がい者との交流、地域でのボランティア活動などを行いました。

「交流を通じて、いろいろなことを感じる事ができました。ふくしや障がいの価値観も変わりました。」などの意見もあり、ふくしや地域を身近に感じる機会になりました。

河芸地域の取組み

—福祉デイキャンプ in かわげ—

一志地域の取組み

—夏休みの子ども達に
会いにいこう in いちし—



バルーンアートの練習の様子



(上) ベビーマッサージの様子
(下) ヨガの様子

一志地域では、①子どもと子どもを取り巻く地域の実情を知ること、②多人数での活動と交流を行い、他人を思いやる気持ちを育むこと、③地域の子どもと知り合いになり、挨拶や声を掛け合うことで、見守りの役割を果たし、今後の地域福祉活動へのつながりを持つことを目的に「夏休みの子ども達に会いにいこう in いちし」を開催しました。

参加者の方々は、高岡学童クラブの子どもたちとの交流の中で、バルーンアートの体験やかき氷のふるまいなどを大変熱心に取り組んでいました。

この事業の開催を通じて、地域の方とともに、地元の学童クラブや児童館との関わりを学ぶことができました。

白山地域では、子育て世代の方に地域を知り、愛着を持ってもらいたい、そして、地域とつながり、将来「社協」地域活動の応援団として白山を支えてほしいといった思いから、ふれあいと癒しの空間「のびいく」を開催しました。

ベビーマッサージを通じて、0歳児ママたちの「出合いの場」を、また、ヨガを通じて、未就児ママたちの「健康とふれあいの場」を作ること、どこかに居場所があるという安心を届けることができました。

「居場所から事業へ」いま、お母さんたちの声が、社会福祉協議会をはじめとする白山地域の子育て支援へとつながっています。

白山地域の取組み

—ふれあいと癒しの空間
“のびいく”—

地域福祉教育基礎研修会

学校における「障がいの有無を超えた良き環境づくり」という ユニバーサルデザインの視点を取り入れた研修会を開催しました！

2月3日(月)に、東京都日野市で通常学級での特別支援教育の実践に取り組まれている、日野市教育委員会 宮崎 芳子氏を招き研修会を開催しました。

研修会では、日頃市内の小中学校でユニバーサルデザイン(※1)の理解促進に関わる、津市教育委員会、津市政策財務部政策課、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会に参加していただき、連携と協働による「障がい児教育と通常学級を融合した環境づくり」の重要性を学びました。

今後は、各学校からのふくし出前講座(※2)の相談と依頼に応じて、これらの視点を取り入れたプログラムを提供していきたいと思えます。

- ① 教育におけるユニバーサルデザインとは、発達障がいのある子にとって「参加しやすい学校」、「わかりやすい授業」は、他のすべての子にとっても「参加しやすい学校」であり、「わかりやすい授業」である。
- ② 優れた授業や実践には特別支援教育の視点がある。このユニバーサルデザインの視点が大切である。

これからの授業には
この視点が大切！



※1 ユニバーサルデザイン

すべての人が使いやすくなるように考えてつくることを、「ユニバーサルデザイン(UD)」といいます。ユニバーサルデザインは、大人や子ども、体の不自由な人、お年寄り、妊娠している人、赤ちゃんを連れた人、外国の人など、みんなにとって使いやすいデザインです。

※2 ふくし出前講座

小中学生から高齢者まで幅広く、市民を対象に福祉意識の向上や福祉マンパワーの育成を目的とし、開催します。

例えば・・・福祉体験教室(車いす体験など)をしたい
どのような内容で実施したらよいか分からない
ゲストティーチャーを紹介してほしい
福祉施設での体験をしたいがどこへ依頼していいか分からない

津市社会福祉協議会(津市ボランティアセンター)は、福祉教育のお手伝いをします！
上記のような相談がありましたら、まずはお気軽にご相談ください！

津市ボランティアセンターでは、市内10か所のVCにおいて「ぼらん津(支部版)」を発行しています。

各地域のボランティアに関する魅力満載な情報をお知らせします！ぜひご覧ください！



VC久居発行

VC白山発行

ぼらん津 Vol.34

2014年3月号

(2014年3月17日)

発行/津市ボランティアセンター

※誌面中、ボランティアセンターを『VC』と表記することがあります。

社会福祉法人 津市社会福祉協議会
津市ボランティアセンター
 〒514-0027 津市大門7-15
 津センターパレス3階
 Tel/059-246-1165 Fax/059-224-6067
 E-mail/chiiki@tsu-shakyo.or.jp
 津市社協 HP/http://www.tsu-shakyo.or.jp

津市社協	各支部内のボランティアセンター		
VC津	Tel/059-213-7111	VC安濃	Tel/059-268-5804
VC久居	Tel/059-256-1202	VC香良洲	Tel/059-292-7711
VC河芸	Tel/059-245-8888	VC一志	Tel/059-295-0066
VC芸濃	Tel/059-265-4531	VC白山	Tel/059-262-7029
VC美里	Tel/059-279-3366	VC美杉	Tel/059-274-0023

津市ボランティアセンター登録の更新及びボランティア活動保険の更新について

当センターへは多数のボランティア団体および個人ボランティアのみなさまにご登録をいただいております。つきましては、平成26年度に向けて活動内容の把握をしたいと思いますので、登録情報の更新及びボランティア活動保険の更新について御理解と御協力をお願いいたします。

詳細は上記の各ボランティアセンターにお問い合わせください。

平成26年度のボランティア活動保険の保険料は下記の内容になります。

※自然災害(地震・噴火・津波)に起因したケガの補償をする「天災タイプ」もあります。

	保険金の種類 (掛金)	ご加入プラン・補償金額 (基本タイプ)	
		Aプラン (300円)	Bプラン (450円)
けがの補償	死亡保険金	1, 200万円	1, 800万円
	後遺障害 保険金	1, 200万円 (限度額)	1, 800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6, 500円	10, 000円
	手術保険金	入院保険金を支払う場合で事故発生から180日以内の手術。入院保険金日額に手術の種類に応じて定めた倍率。 1事故につき1回の手術に限る。	
	通院保険金日額	4, 000円	6, 000円
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)